

その他の建築工事業における起因物なしを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	9～10	外壁張り替え工事において作業するにあたり、外壁横のカーポートの屋根（重さ約60kg程、縦約5m、横約3m、高さ約2.5m）を傷つけてはいけないのと作業しやすいように、屋根だけ外し30m程移動させるため、脚立（約1.5m）の上から2段目にまたがり屋根の枠のアルミパイプを右肩で担ぎ、反対側ではブロック塀に乗って二人で持ち上げようとした時、脚立の上で作業していた者が首・肩・胸に激痛があり肩胛骨が腫れてきた。	28	—
2	10～11	ガードフェンス撤去作業中、フェンス用鋳物ベース（10kg）を持ち上げた時に腰を痛めた。	40	—
5	14～15	市営住宅第4期立替工事（電気1工区）現場にて、1階部分で脚立（6尺）を使用しボックス建込配管作業中に、次の箇所へ移動しようと脚立から降りる最中にバランスを崩し、横の壁配筋に右手小指をついて捻り、右小指中節骨骨折を負った。	39～29	10
6	14～15	墓石工事で石材を持ち上げた際、首肩を捻り、通院した。	41～9	1
7	11～12	被災者は、リサイクルセンター容器処理施設解体室にて、フォークリフトを走行させるための鋼板（118kg／枚）を解体室入口で、台車から降ろす作業をしていた。作業員4名で作業を行っていたが、被災者は、台車から鋼板を降ろす際に、腰に痛みを感じた。休憩後も腰痛が治まらなく、腰臀捻挫と診断された。	39～9	1
10	10～11	当日は、複数の作業現場を廻り、作業内容は重量物の運搬（足場材、木材等）その他、中腰体勢（木の修繕等）の作業も加わり腰に負担がかかり痛める。	67～	1

				9
10	8~9	工事現場において、地上より2.5m程の高さにある庇の上にて、現場打ち合わせを行った際、周囲の人がハシゴを使い昇降する中、本人の判断により庇の上から2.5m下の地上に飛び降り被災した。	29	1 ~ 9
10	8~9	当社倉庫内で倉庫整理作業中、板金の21m巻き平板コイル（幅914mm、重さ約20kg）を移動しようと両手でコイルの端を持って持ち上げ、運ぼうと足を踏ん張った際にふくらはぎが肉離れを起こしたものの。	53	10 ~ 29
10	14~15	事務所にて、当日仕事がないため事務所内の倉庫で片づけをしていた。その際、下に置いてあった一斗缶を棚の上に置くために持ち上げた所、右肩に痛みが出た。	48	1 ~ 9
10	17~18	外壁工事作業中に、30kg~40kgのブロックを中腰の姿勢で並べる作業をしていた時に体を捻り腰痛を発生した。その後、建材の配達やサッシの配達業務をしていたが左足に力が入りにくい症状がある状況で仕事を続けていた。そして、業務で2Fの屋根の上に登り太陽熱風呂の設置工事を行う際に無理な姿勢のまま作業を行ったため痛みがひどくなった。	49	30 ~ 49
11	16~17	場内で資材を積み込む際、体勢が悪い状態で持ち上げた為に腰を痛めてしまった。	21	1 ~ 9
12	15~16	自社置場において型枠を整理中（枠の積み上げ作業）に右肩がパキンとなり、急に右肩が痛みだした。	66	10 ~ 29
12	12~13	床工事の現場で、材料の角材（約20kg）を運ぼうと床から中腰で持ち上げた際、腰に強い痛みが走った。	35	1 ~ 9
12	11~12	当社倉庫内において、倉庫整理のため2tトラックに鋼製足場材を積み込んでいたところ、足元の段差に気づかず、足をとられてバランスを崩し腰を捻った。	20	1 ~ 9

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_11.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html)